

26期の畠山です。

化学会社で半導体材料の研究開発を仕事としています。半導体の高性能化によってデジタル社会が普及し、近年の最先端の半導体は AI(Artificial Intelligence)に使われて、国家戦略物質としてみなされるようになってきました。米国での開発拠点設立のため、転勤で 2024 年と 2025 年に米国オレゴン州のポートランド市に住んでおりました。出張では何十回も訪れた勝手知った町ですが、VISA を取得し納税してこの市民になって住むのとは大きな違いで、還暦過ぎてこれを経験するとは思いもよりませんでした。2024 年は大統領選挙フェスティバルでトランプかハリスのプラカードが各家々に張り出され、ホームレスが増え、拳銃の発砲が日常茶飯事で、分断と混乱を感じる年でした。日本で物価高が政治議論の中心になっていますが。米国の物価は日本の 3 倍でこの点ではとても住みにくい国です。一方、人種のるっぽで発想の豊かさや高度な能力の人が多く個人主義で、日本にありがちな同調的で閉鎖的なところが無く、刺激が多いことは確かです。ポートランド市は人口 70 万人ぐらいの中規模の都市で住みやすく、日本庭園やウィラメット川沿いの桜並木が日本を感じさせます。日本人の居住者は少なく、かえってそれが良かったです。以下は週末の活動についてのお便りです。

ここは自転車フレンドリーな街で、歩行者、自転車、自動車の通路がきちんと分かれています。日本に住んでいた時から、無雪期は自宅から自転車で登山口まで行き、そこからトレイルランニングで頂上を往復することをやっていたので、ロードバイクは盟友です。有名な観光地のマルトノマ滝へのクラシカルハイウェイ、ウィラメット川中流のワイナリー巡り、どこまでも続く農場、可愛らしいアルパカや馬の放牧風景を眺めながら 80 から 100 マイルの日帰りツアーレーションを楽しんでいました。それにしても、オレゴンのピノノアールは絶品です。乾燥して冷涼な気候が合っているのでしょうか。

米国西海岸のカスケード山脈は全てが火山の独立峰で、殆どが浸食による尖がった山容です。日本の本州と四国を合わせた面積のオレゴン州にはマウントフッド(3429m)、マウントジェファーソン(3199m)、スリーフィンガードジャック、マウントワシントン、シスター 3 山、ブローケントップ、ダイヤモンドピーク、マウントティエールセン等、多くの山が点在しています。その中でもマウントフッドはポートランドから眺められる夏でも白い三角錐のオレゴンを象徴する美しい山です。マウントフッドに登りたい。どのように登るか、マウンテンショップで購入したガイドブックを見てみると、ポートランドから望む西側はサンディグレシャーの上に傾斜 60 度のヘッドウォールが聳えています。ここの氷壁をダブルアップスで登る YouTube を見ると自分でも登れそうな錯覚がして楽しい。頂上南側のスキー場のティンバーラインロッジからだと斜度が緩く 40 度を少し超える程度なので、一般的な登山者はここを登るようです。



アルパカ



コロンビア川沿いのサイクリング



ポートランドからのマウントフッド

ロッジは100年前に建てられたリゾートホテルでスキー場の中にあります。スキー場は1年中営業しており雪が溶けないので、日本の夏山のような登山道というものは無く、アイスアックスとクランポンが必須です。頂上に行くには地元のガイドの許可が必要で、登頂者の人数制限をしているようです。ロッジからだと近いので、もっと下から登るルートは無いかと探してみると、600m程下にそり遊びのためのスノーパークがあり、ここから登ることにしました。2月と3月の晴れた日の2度、スノーパークの駐車場からホワイトリバーの中を登っていきます。気温が低いにも関わらず、時々落石がうなりを上げて落ちてきます。日本の山だとこれだけ気温が低いと落石は頻繁には起こらないのですが。登頂許可を取っていないので、頂上手前のクレイターロック近くまで。振り返ると遙か彼方にマウントジェファーソン。こちらも尖がっていて格好がいい。ロッジからのスキー場の上を登るルートは賑わっていますがこちらから登る人は誰もいなく、静かで雄大なホワイトリバーの滑降を満喫しました。

オレゴン唯一の国立公園のクレイターレイク。ポートランドからは片道300マイル、往復900kmのロングドライブです。5月に日帰りで2回行きました。米国の湖で最も水深があり青色以外は吸収されるので、見事なダークブルーです。これほど群青色の丸い湖を私は見たことがありません。外輪山の標高が2300m程で残雪が豊富。外輪山を周遊する道路が6月にならないと車の通行できないので、スキーを背負って車道を歩き、ウイザード島を見下ろす展望台に登りました。眼下に

奇跡の色の湖を眺めながらの滑降はとても印象に残るものでした。妻が7月にポートランドに遊びに来てくれたので、更にもう一回ここを訪れたのでした。

今年の夏はアラスカ、アンカレッジに飛んでデナリ国立公園のドライブやロードバイクを楽しもうと思っていましたが、日本での開発加速のため帰国命令が出てしまいました。来年冬にはマウントフッド西側のグレシャー滑降も狙っていて、ここにずっと住んでいたい気持ちもありましたが、日本に帰って仕事で挑戦したいこともあり、複雑でした。さらばオレゴン、ポートランド、思い出を有難う！



マルトノマ滝



ホワイトリバーにて



クレイターレイクにて